

自治 温故創新

考える  
思いやる  
やりぬく

# まごころ

学校便り 5月号その2

令和5年5月31日

西東京市立田無第三中学校

## 「一戦勝輝」雨にも負けず

校長 東山 信彦



例年より早い梅雨入りの中で、今週末に予定されている「大運動会」の予行が本日31日に行われました。予行始めに私は「『一戦勝輝（一戦一戦勝利を目指して全力で戦い輝こう）』は当日の一戦一戦だけでなく「大運動会」の取り組み全てのスローガンです。当日までの一日一日を全力で取り組み、輝こう。」と話しました。「今日、私は7:15分に学校に来ましたが、すでにたくさんの先生が校庭に取り付いて、ぬかるみと戦っていました。その後係生徒も次々とその戦いに加わりました。皆さんが立っている校庭はそうやって

出来上がりました。これも一戦勝輝です。そして今からの予行練習の取り組みもそうです。まさに今、開会式で立っているこの時もそう。全力で取り組んで輝きましょう。」とも話しました。そして、予行は本番さながらの競技もはさみながら順調に進み、本番前の一山を超えました。

あとは、当日に向けて最終調整に入っていきます。残念ながら、本番予定の土曜日は、「雨」も予想されています。それでも、今できることに全力を尽くすことが、順延日、さらにその後の振り返りも含めての、一連の「大運動会」への取り組みを充実させることとなります。

さかのぼって、29日の全体練習では、校庭実施で準備し、校庭に集合したものの、降り出した雨に予定を変更して、体育館練習となりました。その際、「天候不順の中、ベストの選択ができないときでも、大運動会の成功をめざして、ベターの判断をしていきます。臨機応変の対応がいるけれども、皆で前向きに取り組んでいきましょう。」「臨機応変は、高い対応力があるけれど、皆ならできます。」と話しました。そして、前向きな姿勢のまま、今日の予行を終えることができました。

天候不順や、定まらぬ天気予報に引きずり回され、予定変更の連続に、ため息の一つもつきたいところですが、日々、校庭や体育館から届けられる、生徒の気合いの入った声・声・声に励まされています。予定どおりの実施であれば幸いです。たとえ、日はかかろうとも、この雰囲気を保ち、大運動会当日を迎えたいです。そして、可能な限り、たくさんの保護者の方に生徒の頑張る姿を見ていただきたいと思えます。

6月3日（土曜日）の開催の場合は、コロナ感染症対応を継続し、各ご家庭2名までの参観をお願いします。ただし、小学生以下のお子さんは人数として数えませんが、ぜひ弟さんや妹さんをお連れください。混み合う場合は、各学年競技の前に、当該学年の保護者に前列を譲っていただけるとお声がけしますので、ご協力ください。平日開催の場合は、参観人数は限定しません。ただし、参観できるのは、ご家族のみです。

受付を、PTAの皆様にご担当していただいています。ご協力をお願いします。（自転車での参観については、別にPTA文書がメール等で配信されています。こちらも合わせてご協力ください。）

体育館を、午前最終プログラム：部活リレーの対応（更衣）が終わりましたら、参観者に開放します。昼食・休憩にご利用ください。

運動会の実施の可否は、当日朝一斉メールにてご連絡しますが、実施、順延にかかわらず、6月3日（土曜日）と6月7日（水曜日）は、給食がありません。この両日は、必ずお弁当が必要です。ご準備のほどよろしく申し上げます。